

RCEP 関税・貿易政策研究会シンポジウム  
～RCEP の活用に向けて～

日本関税協会は、2021年1月からRCEP関税・貿易政策研究会を立ち上げ、RCEP協定の内容を章毎に詳細に分析し、TPP等他の広域EPAと比較分析することにより、RCEP協定の全容と同協定が日本の関税・貿易政策と経済政策に及ぼす影響を明らかにするとともに、その研究成果について弊会の月刊誌『貿易と関税』に掲載してきました。研究会は成功裏に終了し、また、成果物として書籍『RCEP コメントール（仮称）』の発行準備を進めています。

更に、2022年1月1日よりRCEP加盟15か国のうち10か国の批准によりRCEP協定が発効することとなったことから、RCEP関税・貿易政策研究会に参加していただいた研究者の方々に加え、官民双方の有識者をお招きし、RCEP協定が日本の関税・貿易政策に及ぼす影響と企業における同協定の活用に関して、講演、RCEP協定主要章の解説及びパネルディスカッションを行うこととしました。

- (1) 日時：2022年2月1日14時～17時
- (2) 主催：公益財団法人日本関税協会
- (3) 形式：Zoomを活用したオンラインシンポジウム
- (4) 参加費：無料
- (5) プログラム：概要は以下の通り

【プログラムの概要】

開会挨拶：日本関税協会専務理事 14:00-14:05

基調講演：政府及び民間の双方からみたRCEP協定に対する期待と活用

● 財務省関税局経済連携室 井田直樹室長 14:05-14:35

● 株式会社日立製作所バリュー・インテグレーション統括本部  
間接材調達統括部 川口洋史統括部長 14:35-15:05

～～休憩：5分～～

RCEP協定の主要章の解説

● 物品の貿易（亜細亜大学国際関係学部 久野新教授） 15:10-15:30

● 原産地規則（日本関税協会 長谷川実也部長） 15:30-15:50

● 投資（早稲田大学社会科学部 福永有夏教授） 15:50-16:10

～～休憩：10分～～

パネルディスカッション 16:20-17:00

● モデレーター：中央学院大学現代教養学部（社会システム研究所長）  
中川淳司教授

● パネリスト：川口統括部長、久野教授、長谷川部長、福永教授